

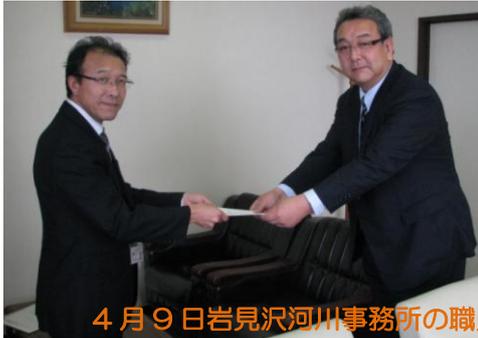
管内 2 団体が「河川協力団体」に指定されました。(3月31日)

「幾春別川をよくする市民の会」、「NPO法人 山のない北村の輝き」が北海道開発局長から河川協力団体に指定されました。「幾春別川をよくする市民の会」は幾春別川の西新橋から狩野橋間を中心に、草刈りや鮭の稚魚放流事業など、「NPO法人 山のない北村の輝き」は旧美唄川の桜つづみ公園周辺の区間と幌達布にある河川防災ステーションで、河川清掃や雪中植林などの活動を展開しています。今後も地域の方々と連携してより良い川づくりをして参りますので、ご理解・協力をお願いします。

河川協力団体とは？

河川管理者と連携して自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う NPO 等の民間団体です。

幾春別川をよくする市民の会 馬淵会長(右)



山のない北村の輝き 石黒理事長(中央)



4月9日岩見沢河川事務所の職員が両団体を訪れ指定証を手交しました。

鮭の稚魚放流に参加しました！(4月14日～16日)

岩見沢市、三笠市、月形町において各地元団体主催による鮭の稚魚放流が行われました。岩見沢河川事務所や地域の小中学校や幼稚園・保育園などで発眼卵から飼育された体長3～5センチの鮭の稚魚、約12,000匹が「頑張ってる」などと声をかけられ子供たちの手により放流されました。岩見沢河川事務所では稚魚の提供をすると共に、水辺環境の保全の大切さや河川の安全利用について理解を深めることを目的とした説明を行いました。

放流した稚魚は早くも2年後に同じ川に戻ってきます。みなさん親魚が戻ってくるよう、きれいな川の利用をお願いします。



融雪注意！！

北海道地方では、気温の上昇や降雨により、融雪が進んでいきます。融雪に伴い河川の増水、低い土地の浸水、土砂災害、なだれが発生することが予想されます。これから散策やカヌー、魚釣りなど水辺に近づく機会が増えると思いますが川の情報を確認のうえ利用願います。

川の防災情報 <http://www.river.go.jp/81.html>

新人が入りました！

齊藤将久(さいとう たすく)
計画課 維持補修係員

岩見沢にはいままで訪れる機会が無く、地域の実情把握から始めました。公私ともに地域に密着出来るよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



米森一貴(よねもり かずき)
計画課 計画係員

出身は雪のほとんど降らない神奈川県なので雪が多い岩見沢の気候が新鮮です。地域の環境や事情にあった仕事出来るよう頑張っていますのでよろしくお願いいたします。

川の安全利用

川の流れは一定ではなく、雨が降った後や雪解けの季節には川を流れる水の量が増えます。次のようなときは川に近づかないようにして下さい。

- ・川の水が濁っているとき
- ・落ち葉や流木などゴミが流れてきたとき
- ・遠くの空が暗いとき
- ・川の水がいつもより多いときや流れが速いとき

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL: 0126 (23) 9555



国土交通省